

2020年9月10日

内閣総理大臣

安倍晋三様

外務大臣

茂木敏充様

防衛大臣

河野太郎様

オスプレイと飛行訓練に反対する東日本連絡会  
代表世話人 湯浅 一郎  
横浜市中区松影町2-7-16 浅見ビル202号室

フォーラム平和・人権・環境  
共同代表 藤本 泰成  
共同代表 勝島 一博  
東京都千代田区神田駿河台3-2-11 連合会館

## 要請書

日々の精励に敬意を表します。

この間、東京・横田基地では米軍機オスプレイ等の夜間飛行訓練が頻繁に行われ、日米合同委員会合意が遵守されていない状況が続いています。加えて人員降下訓練に伴う部品落下事故なども発生しています。基地周辺自治体及び住民にとって、最低限求めたいのは、これら事故の詳細の情報を速やかに提供されることです。また事故原因が究明されるまでは、訓練の中止、飛行の停止が当然あってしかるべきと考えます。これまでも沖縄県で米軍機による部品落下や墜落事故が頻繁に起こっていますが、米軍は事故原因を究明しないまま飛行を再開し、日本政府も飛行再開を容認する姿勢をとり続けています。事故報告書が全面公表されることもありません。人のいのちにかかわる問題であるにもかかわらず、情報の公開が全く不十分であることに怒りを禁じ得ません。日本政府は説明責任を十分に果たすべく、米軍当局に事故報告の公開などを強く求め、得られた結果を広く公表すべきです。

また、木更津に暫定配備された陸上自衛隊オスプレイの運用詳細が明らかにされていません。米軍と自衛隊の共同訓練、基地の共同使用がより強化される方向がうたわれているなかで、首都圏上空においても陸自オスプレイおよび米軍機等の飛行が増大し、基地周辺および訓練空域下にとどまらず、さらに全国に展開していくことに危惧を覚えます。

そこで、東日本に所在する市民団体と平和フォーラムは、ここに共同して、下記のように要請を行うとともに、質問いたします。

### 記

#### 【要請項目】

1. 横田基地での人員降下訓練をただちに中止し、事故を起こした航空機の運用を停止すること。ならびに夜間のオスプレイの飛行訓練をやめること。

2. 自衛隊のオスプレイ配備計画を撤回し、及び木更津駐屯地などでオスプレイの整備を行わないこと。

3. オスプレイを木更津基地以外の基地や場所に飛来させる場合は、事前に関係自治体と十分な協議を行い合意を得ること。また、地元の市民に対し説明する機会を設けること。

#### 【横田基地関連について】

1. 横田基地配備の CV-22 の運用は、2012 年に沖縄県・普天間飛行場に MV-22 オスプレイが配備された際の日米合同委員会における合意内容が適用されると、政府の発言が過去にありましたが、この発言・考え方に変わりはありませんか。【外務省】【防衛省】

2. 本年 6 月 16 日（火）に発生した、CV-22 機体下のサーチライトの部品落下事故について、事故の原因および今後の対策、また地元自治体及び住民に対する説明などの対応の経過についてご説明下さい。また、米軍は飛行前後に機体の点検を日常的に確実にしているのでしょうか。【防衛省】

3. 本年 6 月 29 日（月）、CV-22 を使って横田基地上空において人員降下訓練が行われました。7 月 2 日（木）には、キャンプ座間の UH-60 を使用して人員降下訓練が行われ、1 名の訓練参加兵のメインパラシュートが開かなかったためにそれを切り離し、予備のパラシュートで基地内に降りるといった事故がありました。メインパラシュートとパラシュートのケースと思われる部品は基地東側約 700m 地点・立川市の住宅地に隣接する東京都の小さな水道施設付近で発見されています。また、7 月 7 日（火）にも同様に人員降下訓練が行われ、航空機に搭乗していた落下傘兵が足ひれ（フィン）を落下させたと推定される事故がありました。この足ひれは、基地西側約 800m 地点・福生市の住宅地横の道路で発見され、取得者の通報や防衛省担当者の確認作業の遅れで 7 月 10 日になって明らかになりました。

これまでにも横田基地では常駐機 C-130J を使用してのパラシュート降下訓練が日常的に行われ、たびたび事故を引き起こしています。住宅地や通行量の激しい道路で囲まれた横田基地上空でのパラシュート降下訓練は禁止すべきであることはもちろんですが、今回のように事故が起きたのち、事故について何の説明もなく、事故原因が明らかにされないなかで訓練が継続されています。

3-1. 6 月 29 日、7 月 2 日、7 月 7 日の人員降下訓練についてそれぞれ、訓練参加兵の所属、訓練内容、参加人数をお知らせください。【防衛省】

3-2. 7 月 2 日、7 月 7 日の部品落下事故について、基地外に落下させた物体の大きさ、重量、材質をお知らせください。また、それぞれの事故の原因と経緯について詳細説明をお願いいたします。訓練前後の兵士の装備のチェックが確実に行われているのかあわせてご説明をお願いします。【防衛省】

3-3. 7 月 7 日の部品落下事故について、7 月 10 日に明らかになるまで、米軍が事故の情報を

明らかにしなかった理由についてご説明願います。【防衛省】

3-4. 事故が発生し事故原因の究明が明らかではないにもかかわらず、訓練を継続して実施することは、基地周辺自治体および住民への配慮を欠くと考えますが、政府の見解をお聞かせください。【外務省】【防衛省】

3-5. 政府はこれらの事故に関して、米軍に対しどのようなはたらきかけをしたのか、それに対し米軍の対応についてお知らせ願います。【外務省】【防衛省】

4. CV-22 の訓練飛行時刻について、本年 6 月以降、22 時を過ぎての訓練や飛行が多く見受けられるようになっていきます。この事実を政府は把握しているのでしょうか。また、事実を把握しているのであれば、これに対しどのように対応されているのでしょうか。【外務省】【防衛省】

なお、私たちが把握している事例は以下のとおりです。

◇6月16日（火）22時00分に2機が着陸。エンジン停止はその5分後くらい。

◇6月18日（木）23時10分、23時14分に各1機が着陸。

◇6月23日（火）22時12分に1機が着陸。

◇6月25日（木）22時27分、22時30分に各1機が着陸。エンジン停止は22時40分頃。

◇7月1日（水）22時11分に2機が着陸。

◇7月22日（水）22時13分に1機が着陸。

◇7月23日（木）22時50分頃に2機が着陸。

◇7月27日（月）23時15分、23時18分に各1機が着陸。エンジン停止は23時25分頃。

この2機は、岩国基地で21時過ぎまで訓練を行っていたとの情報が岩国の住民から寄せられている。

◇8月6日（木）22時14分に1機が離陸。北に向かう。

◇8月12日（水）22時45分、22時54分に各1機が着陸。

◇8月19日（水）22時46分に1機が着陸。

5. CV-22 配備の際に説明のあった横田基地周辺での訓練空域＝場周経路について、これを変更して運用されていると思われる飛行が常態化しています。一例として、CV-22 が転換モードやヘリモードで飛行する際は、横田基地東側を飛ぶとしていましたが、これを逸脱する飛行が常態化しています。政府はこの事実を把握していますか。また、当初の説明とは違う飛行運用を米軍が繰り返す理由についてご説明をお願いします。【防衛省】

6. CV-22 の射撃訓練はどのようなもので、どこで行われているのか。機体から機関銃の銃口を突き出して横田基地周辺で飛行することは、明らかに射撃訓練だと解釈できますが、これについての政府の見解をお聞かせください。【外務省】【防衛省】

7. CV-22 は基地周辺の旋回飛行において、転換モードやヘリモードで飛行しているのが常となっています。日米合同委員会での合意がないがしろにされているとしか思えません。この件

に関して、政府は米軍に対しどのように対応しているのでしょうか。【外務省】【防衛省】

8. CV-22 の転換モード時、ヘリモード時は基地周辺に低周波音を響き渡らせています。特に離着陸訓練時、ホバリング訓練時、ホイスト訓練時など、また離着陸時などにも長時間にわたって低周波音を発生させています。

8-1. 政府はこの事実を詳細に把握していますか。【防衛省】

8-2. 政府は、横田基地での低周波音について調査を行ったことはありますか。調査がされているとしたら、調査報告の公表の有無についてお知らせいただくとともに、公表がないとしたらその理由についてお聞かせ下さい。【防衛省】

8-3. CV-22 の夜間飛行訓練や低周波音が基地周辺自治体及び住民に被害をもたらしている状況がありますが、日米合同委員会合意違反の訓練の実態と低周波騒音の被害状況が明らかでないにもかかわらず、CV-22 の飛行記録の公表を本年 1 月から中止した理由についてご説明をお願いいたします。【防衛省】

9. 横田基地配備の CV-22 の機体整備について。

9-1. どのような整備を、どの程度の飛行時間を目途として行っているのか明らかにしてください。横田基地内で十分な整備を行うことができるのでしょうか。【防衛省】

9-2. MV-22 の定期機体整備は 5 年に 1 度程行うと説明がありましたが、CV-22 の定期機体整備を実施する頻度は MV-22 と同様なのでしょうか。また、MV-22 と異なる場合、その理由についてご説明ください。【防衛省】

9-3. CV-22 の定期機体整備は、木更津基地、横田基地のどちらで行われるのでしょうか。

【防衛省】

10. 横田基地への CV-22 追加配備について

10-1. 2024 年度までに、横田基地に CV-22 を 5 機追加配備することが公表されていますが、現段階で把握している配備時期はいつかお知らせください。また、追加される機体はどこから調達されるのか。CV-22 は、数年前から新規に製造されていないことから、米本土や英国に配備されている機体を持ち込むしかないとの予測は間違いはないのでしょうか。【防衛省】

10-2. CV-22 が 2018 年 10 月に配備される以前、横浜ノース・ドッグに陸揚げされ、そこから離陸し横田基地に一時飛来しました。航空管制のない場所から離陸し横田基地に向かうことについて、法令上の問題はないのでしょうか。【外務省】【防衛省】

【木更津基地関連について】

11. 定期整備について

11-1. 木更津基地の定期整備拠点でこれまで 4 機の沖縄普天間基地の MV-22 の定期整備が行

われていますが、当初の整備終了まで「3～4ヶ月に1機の整備」と説明されていたものが、1機目は25ヶ月、2機目は18ヶ月かかった理由をお聞かせください。【防衛省】

11-2. 本年5月にSUBARUによる定期整備は2020年に整備に入る機体までとの説明がありましたが、常識的には整備に熟練するまでに一定の期間が必要と考えられますが、4年という期限は最初から決められていたのでしょうか。またなぜそのことを最初から説明しなかったのかをお聞かせください。【防衛省】

11-3. これまで機体整備にあたり米軍、防衛省、SUBARUとの間で交わされた「覚書き」について、防衛省、木更津市ともに遵守されているとしています。しかし、この間の飛来では好天にもかかわらず早い段階で房総半島内陸部を飛行し、君津市、木更津市の中心市街地を飛行するなど、「覚書き」が遵守されているとはいえない状況があります。内陸部や市街地を飛行する理由についてご説明下さい。また、2機目の整備完了に伴う普天間基地への帰投を木更津市等への事前情報提供を怠っています。情報提供がなされない理由についてもご説明下さい。

「別紙 木更津 覚書を守っていない事例」をご確認ください。

【防衛省】

11-4. 本年5月に2021年度以降の整備企業を7月に公募するとのことでしたが、国内、海外いくつの企業が応募してきたのでしょうか。またこの募集では契約期間を9年6ヶ月としている理由についてご説明下さい。【防衛省】

11-5. 2023年以降アメリカ海軍のオスプレイCMV-22も木更津基地で定期整備を行うことを予定しているということですが、現時点でそれは何年何月頃を想定しているのでしょうか。また現在CMV-22は何機で、どこの部隊に所属しているのか、また木更津基地で整備することになった場合、どこの基地に配備することを想定しているのでしょうか。【防衛省】

## 12. 陸上自衛隊オスプレイの暫定配備について

12-1. 昨年12月25日渡辺木更津市長の「配備期間は5年以内」という提案を受け、河野防衛相は「努力する」と答えていますが、防衛省としてこの5年以内実現に向けてどのように努力するのでしょうか。スケジュールおよび取り組み内容について現段階の計画をお知らせください。仮に1機目が木更津基地に配備された本年7月10日以降5年以内に佐賀空港への移転が行えなかった場合、どう対応するのでしょうか。【防衛省】

12-2. アメリカで教育訓練を行っていた陸上自衛隊オスプレイ5機のうち、残りの3機について、いつ日本に来て木更津基地に配備するのでしょうか。【防衛省】

12-3. 陸上自衛隊オスプレイ17機の木更津基地への年次別配備計画を明らかにしてください。【防衛省】

12-4. 木更津基地へ配備後の陸上自衛隊オスプレイの訓練内容、訓練地域について明らかにしてください。【防衛省】

13. 木更津基地の運用に関する協議会について

13-1. 防衛省は6月に設置された「木更津駐屯地に関する協議会」（以下協議会という）をどのように位置づけていますか。またこの協議会で明らかになった課題についてどのように対応するのか明らかにしてください。【防衛省】

13-2. 協議会の構成で、委員に一般市民が入る余地が全くないことに對し、どのように受け止めているか、お考えをお聞かせください。【防衛省】

以上